

垂高フリーマガジン作っちゃいますプロジェクト／垂水高校の魂と情熱を届けます！ since 2012

TaruTama



2023
Spring
vol.21

鹿児島県立垂水高等学校フリーマガジン[たるたま]

—特集—

個性で彩れ 未来のキャンパス



君はまだ
真の垂高の
楽しさを
知らない。

TAKE FREE

☆自由にお持ち帰りください
発行2,500部(数に限りがあるよ!)

Contents

フェンシング / P3

垂水高校 / かごしま国体フェンシング競技への関わり

特集 / P4 ~ P12

個性で彩れ 未来のキャンパス

取組紹介① / P13

垂水キャンパス ~美術部~

取組紹介② / P14 ~ 15

学びのある風景 ~数学活用~

取組紹介③ / P16 ~ 17

2022 垂水高校 文化祭

取組紹介④ / P18 ~ 19

Lunch ~お弁当 Week ~

◎本誌は垂水市からの広報強化支援により発行しています。

垂水高校では、垂水市の垂水高校支援事業（①通学費補助、②検定試験等補助、③部活動等活性化補助、④広報支援補助、⑤東進ハイスクール通信講座補助、⑥家賃補助）の「広報支援補助」を活用して発行しています。

◎企画・発行・取材・撮影 / 垂水高校

（鹿児島県垂水市中央町 14 / ☎ 0994-32-0062）

◎デザイン・編集 / 垂水高校・垂水市

（鹿児島県垂水市上町 114 / ☎ 0994-32-1111）

◎印刷・製本 / (有) 垂水中央印刷 ☎ 0994-32-0315

◎注意 / 写真、イラスト等の無断転載を禁じます。

Introduction / はじめに

垂水高校は、大正 14 年に設立され令和 5 年度に創立 98 周年を迎える高校です。地元では「垂高（タルコウ）」の愛称で呼ばれ、地域に貢献している多くの人材を輩出し、地域と連携してきた歴史と伝統、実績をもとに、垂水市になくてはならない教育機関として現在に至っています。



垂高フリマガ / TaruTama

本誌「TaruTama（たるたま）」は、垂水市と垂水高校がコラボレーションしたフリーマガジン（フリマガ）です。垂水市が策定した「垂水高校振興支援計画」の「広報・PR 活動」として計画されたもので、その名も「垂高フリーマガジン作っちゃいますプロジェクト」。垂水高校全生徒からプロジェクト参加者を募り、製作委員となった生徒 15 人が夏休み返上で製作に当たり「垂水高校愛」という魂を込めて創刊号を発刊しました（平成 24 年 10 月 1 日）。これを機会に、多くの皆様（特に、中学生の皆様）に垂水高校を知っていただき、少しでも興味をもっていただければ幸いです。

※バックナンバーは、垂水高校公式ブログからご覧いただけます。

垂水高校／かごしま国体フェンシング競技への関わり



使用する用具の確認

フェンシング競技

我が街垂水市では、令和4年12月に第75回全日本フェンシング選手権大会が開催されました。この大会は団体の日本一を決める大会で、今年開催予定の国民体育大会に向けたプレ大会です。垂水中央運動公園体育館で行われ、私たち垂水高校の生徒が運営の補助を行うボランティアをしました。



フェンシングで使う剣を触らせていただきました。

国体に向けての活動をインタビュー



国体推進課
米田課長 山下主事 岩元主事
(奥から) に対応いただきました。

生徒：垂水市がフェンシングの会場となった理由を教えてください。

山下さん：垂水市は体育館が広い等の理由からフェンシング競技開催についての打診があり、平成26年5月に決定しました。

生徒：垂水市国体推進課の主な仕事内容を教えてください。

山下さん：国体を成功させることを目的として、設備や競技についての事前準備を各競技団体と調整しながら進めることが主な仕事です。そのほかにも国体に向けてのPR活動などを行っています。

生徒：国体に向けて一番注意していることを教えてください。

山下さん：新型コロナウイルス感染症についてです。全国各地から選手や監督、御家族、その他関係者の方々が垂水へ来られるので、万全の感染対策を行いながらも競技を楽しんでいただけるように努めます。

生徒：これまで垂水市で行われたイベントとの大きな違いは何ですか。

山下さん：47年に一度しか開催県になることがない、全国各地から人が集まる鹿児島県全体を挙げて実施される国内最大のスポーツイベントであることです。

生徒：2020年に準備していたこととの変更点はありますか。

山下さん：新型コロナウイルス感染症対策を講じる必要があることが、一番の変更点です。

国体が鹿児島(垂水)であることで

垂水市で国体競技が開催されることは47年ぶりのことです。ぜひこの貴重な機会に、高校生である私たちはボランティアに参加するなど大会を楽しめればと・・・
フェンシング以外にも、綱引き、

スポーツチャンバラが開催されますが、鹿児島県内各地でもたくさんの競技が行われるので、これを機会にいろいろな競技を観戦して、国体をとおして様々な競技に興味を持てる良い機会になればと思います。



インタビューに向けて資料を使い丁寧に対応いただきました。

ご覧あれ！ 3年間の集大成 ～ドレスに想いを寄せて～



1



2



3

1 / 型紙作成 2 / ビスチェ本縫い 3 / ビスチェ (ドレスの上の部分)

生活デザイン科3年生 課題研究のテーマをドレス製作に決め取り組んだ内容をご紹介。先輩の姿に憧れて自分の好きなドレスを仕上げました。想いのこもった世界に一つしかないドレスをご覧あれ！

コンセプト： ピンク色やお花が好きなのでピンクの花柄ドレス

- ポイント：**
- ① ビスチェ (ドレスの上の部分) にパールやリボンで装飾。
 - ② 天使をイメージしたぞで。
 - ③ ドレスの後ろに大きなリボンでかわいらしさを演出。
 - ④ ブーケを父と一緒に製作。

頑張ったところ： 授業だけでは間に合わないため放課後や夏休みを利用して製作。布同士を重ねて縫うこと。スカートにふんわり感を出すために“ギャザー”をよせる技法

製作しての感想： 製作に時間はかかったけど、どんどん出来上がっていくドレスを見て嬉しくなりました。実際にドレスを着て歩く練習も頑張りました。本番ではすごく緊張して笑顔になっているか不安でした。こだわりが詰まったドレスが製作できて良かったです。



Writer

池崎 巴瑠菜
生活デザイン科3年
鹿屋中出身



Writer

梶丸 七海
生活デザイン科3年
鹿屋東中出身



コンセプト： 白のウエディングドレス

- ポイント：**
- ① 高級感をだすための布選び。
 - ② スカートの後ろを長くして立体感を出す。

頑張ったところ： パーツを組み合わせる時に間違えて何度も縫い直しをしたこと。4月下旬から自分なりに計画通りに進めるように努めたこと。放課後や夏休みを利用して、9月頃には完成できたこと。

製作しての感想： 初めて自分自身でデザインや型紙作成、布の色や種類を考えデザインを決め、世界に一つだけのウエディングドレスを製作することができました。着用した時は達成感で感動しました。将来は保育士になる夢があります。ドレス製作で身につけた知識や技術を(保育園での)子どもたちの衣装づくりなどに役立てたいと思います。

感謝の気持ちでおもてなし



1 / 生徒たちが考案した献立 2 / おもてなし会の様子

生活デザイン科3年生 類型選択フードデザインコースを選択した5人による保護者の方々へ感謝の気持ちを込めたおもてなし会を実施しました。



苦手な調理を克服したいと思ったのでフードデザインコースを選択しました。今まで育ててくれた親や先生方に感謝の気持ちを込めて準備しました。日常生活の中で感謝の気持ちを伝える事が少ないので、貴重な思い出ができて良かった。



調理することが好きでフードデザインコースを選択しました。おもてなし会に向けてメニューの考案や何度も試作を繰り返しました。当日は母が来校。帰宅すると「おいしかった。楽しかったよ。」という母の言葉がとても嬉しかった。



総合的な探究の時間

3年生

研究テーマ 一人ひとり、それぞれが設定したテーマについて、課題を見つけ、探究し、解決をめざす。

垂水市の少子高齢化について

海元 瑛成



〔市役所へ訪問〕



〔発表の様子〕

◆ **テーマ設定について**
垂水市の少子高齢化や人口減少が厳しい状況にあるということを知り、それがどのくらい進んでいるのか、また、どのような対策が必要なのかを考えてみることにしました。

◆ **研究を通して**

現在の垂水市は総人口13,658人、年少人口はその内の約10%、生産年齢人口は約47%、老年人口は43%であるということが分かりました。さらに、この授業で学んだREESAS（地域経済分析システム）で調べてみると、2045年には、総人口は約7000人に減少し年少人口が7%、

生産年齢人口は37%、老年人口は56%であることが分かり、とても驚きました。

市役所を訪れた時にもこのことについては同様のデータが示されましたが、同時に、少子高齢化が進むことを踏まえて、第5次垂水市総合計画に基づく街づくりが行われていることを知りました。今後十年間の街づくりの指針が示されたもので、このような取組があることを、私たち高校生も把握し、積極的に参加していく事が必要だと感じました。それが、人口減少のブレーキとなるように、今自分ができることを実践していきたいです。

垂水の特産品をたくさんの人に知ってもらおう！

竹之内 杏



〔市役所へ訪問〕



〔発表の様子〕

◆ **テーマ設定について**
一年生の時に調べた垂水の「水」をきっかけに、その他の特産品についても調べてみたい。そして、それをたくさんの人に知ってもらいたいと考えました。

◆ **研究を通して**

垂水には、ブリ（ぶり大将）、カンパチ（海の桜鮓）、びわ、サイインゲン、キヌサヤえんどう、つらさげ芋など、多くの魅力的な特産品があります。調べていくと、すでに垂水市では、特産品の販路拡大の様々な取組がされていることがわかりました。特に近年ではJALとの間で、特産品・観光振興などに関する連携協

定を結び、国内だけでなく海外にも広がりをもせていることに驚きました。

私はこの探究活動を通して、地域に、より興味を持つようになりまし。私のように地域に関心を持つ人材をもっともっとたくさん増やしていく事が必要ではないかと感じました。また調べたことを、SNS等で発信し、地域の取り組みを若い世代に知ってもらい、情報を拡散させることで、地域の活性化につながっていくのではないかと考えました。これからも自分ができることを実践し、地域や社会に貢献していきたいです。

垂水市役所訪問の際は、たくさんの資料を準備してくださり、
また、懇切丁寧に説明していただき、ありがとうございました。

敬語について

橋口 蓮



〔授業の様子〕



〔発表の様子〕

◆テーマ設定について

最近、若い世代が、「先生や職場の上司に対して、敬語を用いずにコミュニケーションをとる」という記事を見た時に、敬語は本当に必要なのか、敬語のメリットデメリットは何かを調べてみたいと思ったのがきっかけでした。

◆研究を通して

まず、敬語のは役割を調べたところ、①相手や周囲の人、その場の状況に応じて気持ちを表現する手段、②相手と自分の間の人間関係をどのようにとらえているかを表現する手段であることがわかりました。
次に生徒・職員にアンケート

トを取りました。①普段から使っている人が七割。②敬語は必要かという問いに、必要ないと答えた人はごく少数。③敬語はどうあるべきかという問いに約七割の人が「伝統的な美しい日本語として継承すべき」と答えました。

敬語は、公的な場と私的な場を区別しやすく、相手のことを丁寧な扱いすべき人だと思っていることを伝えやすい反面、間違った表現になりやすく、マナーがなってないと思われる可能性もあります。これらのことから、敬語は、相手との関係を良好に保つ手段として、正しい知識を学び、身に付けておくべきものだと私は思います。

垂水市の地域づくりの活性化

吉崎 梨菜



〔市役所へ訪問〕



〔発表の様子〕

◆テーマ設定について

垂水市には、各地区で取り組んでいる地域づくりはあるが、他地区と協力している取組が少ないということを知ったのがきっかけになりました。

◆研究を通して

私が考えた取組は、①垂水の特産品を使い、共同で商品開発をする。②地区のお祭りや大会を合同で開催する。③自分の地区の名所を、他の地区の住民に案内し、紹介するイベントを開催する、というものです。地区を越え、より深く自分の街を理解し、市民自らその良さを伝え合い、発信していく事で、市全体の活

性化につながるのではないかと考えました。

また、他の市町村が行っている取組では、秋田県雄勝郡羽後町で行われている地元の伝統文化を生かしたイベントに習って、垂水各地の伝統文化を取り上げて開催ができるのではないかとすることも考えました。他都道府県市町村に視野を広げることで、今まで考えなかった取組に気付くことができました。

このように他地区との協力で地域づくりを行い、訪れる観光客や定住者の増加につながっていくように、私たちも、できることを探していきたいです。



総合的な探究の時間

2年生

研究テーマ

高校に給食を ～地域活性化のために～

◆テーマ設定について

「総合的な探究の時間」においては、地域理解を深めながら、課題を見つけ、探究することで、課題解決を図ることをめざしています。

一年次には、SDGs について学んだり、データを元に分析や考察を重ねる方法を学習したりしました。このテーマは、「垂水市の地域活性化のために何ができるか」を全員で考え、その中で出てきたアイデアです。自分たちが通う垂水高校に魅力を感じてもらうことは地域活性化の一端になるのではないかと、今の垂水高校

にプラスできるものは何か、ということを考え、「給食導入」にたどり着きました。

◆生徒・保護者アンケート

川畑虎鉄・新村優里奈

テーマを決めた後、給食に対して生徒や保護者がどのように感じているのかを知るために、アンケートを実施しました。（回答数 生徒56人、保護者38人）

生徒の多くは、自宅から弁当を持参していましたが、パンや油ものの摂取が多く、また「食べない」という人もおり、「栄養バランスがとれている」

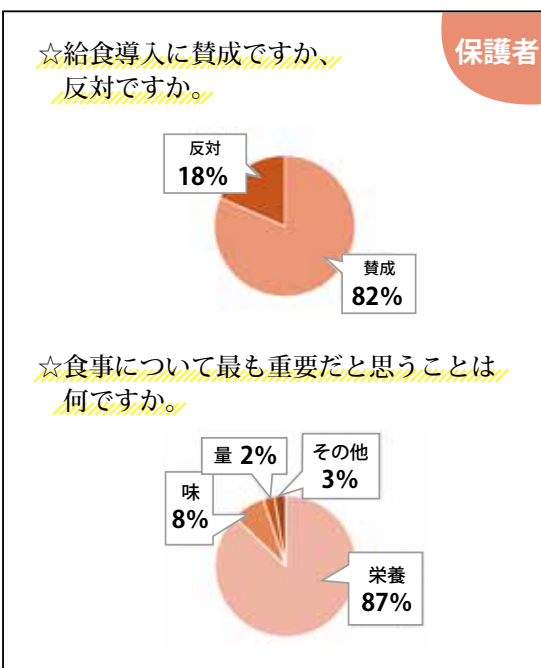
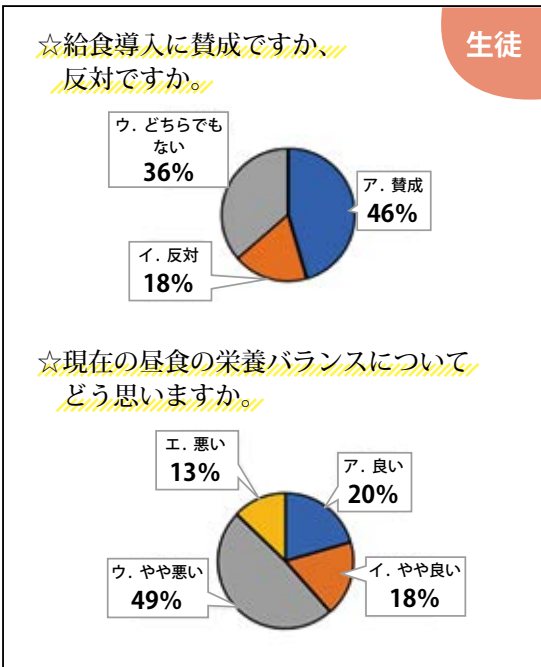
と考えている人は四割ほどでした。

食食において重要視することは、一位好物、二位栄養バランス、三位温かさ、という結果になりました。

保護者の意見として、食事では「栄養バランス」を重視していることは「栄養バランス」で、給食導入については82%が賛成でした。また、給食費として半数の方が、一か月あたり「5000円」が妥当であると答えました。

生徒の自由記述欄には、「給食がなつかしい」「ぜひ温かい給食を食べたい」「嫌いな物を食べたくない」と賛否両論ありました。

給食導入についての校内アンケート



◆先進校へのアンケート

川崎 優斗・木場 聖

給食導入の先進校四校へ、アンケートをお願いしました。

愛媛県立松山北高等学校中島分校では、登校時にフェリーに乗らねばならず、朝早くお弁当を作る負担を軽減する目的だそうです。

石川県立志賀高等学校は、学校の特色づくりの一環として、秋田県立羽後高等学校は、学校存続と生徒の健康づくり等のため、茨城県立大子清流高等学校は地域活性化の対策として、どの高校も行政側からの働きかけで実現しています。

四校ともそれぞれの地方自治体の補助なしで、一食あたり250円で提供されますが、牛乳が出されるかは、学校によりばらつきがあります。

給食を導入することは、生徒の栄養バランスや負担軽減につながるだけでなく、地域の農産物の活用や販路開拓などを考えるビジネス学習につながるという利点もあります。



〔Zoom で交流活動をする様子 右：愛媛県立松山北高中島分校の生徒さん、左：2年1組の生徒〕

◆導入校との交流

坂崎 乃愛

十二月十四日に、現在給食を導入している愛媛県立松山北高等学校中島分校、石川県立志賀高等学校とZoomで交流をしました。緊張からうまく言葉を発することができなかったり、接続が切れてしまうというトラブルに見舞われたりして、時間はあっという間に過ぎてしまいました。

どちらの高校も、生徒から希望して導入されたわけではありませんが、実際の給食時間には、生徒や先生の協力が不可欠で、かつ給食を楽しそうに食べている様子が印象的でした。

それぞれ特産の、ミカンや干し柿を使ったメニューがあるそうで、どのように調理されているのか興味深いところです。

質疑応答では、わたしたちが疑問に思っていることにたくさん答えていただきましたが、まだまだ聞きたいことはたくさんあり、また交流の時間をお願いしたいと思います。

◆今後の見通し

山下 莉奈

これまで、給食を導入するにはどうすればよいか、課題をひとつずつ挙げて、解決できるように活動してきました。今後、給食から地域活性化へつなげるために、もう一段階先の探究へ進んでいきます。

垂水市の人口は年々減少し続け、令和二十七年には7000人程度になると予想されています。現在鹿児島県内ではどこの高校も実施していない給食を、垂水高校の特色の一つとして導入が可能か、これまで調査・分析したものを垂水市の担当者の方へ提示し、次の方向性を定めたいと思います。

まだまだたくさんさんの調査や研究が必要で、時間が足りるか不安もありますが、多くの方の力をいただきながらみんなで協力して探究を深めていきたいです。

〔中島分校からいただいた「紅まどんな（愛果28号）〕



文芸 1

垂高エッセイスト5傑



南日本新聞ひろば欄「若い目」。小学生から高校生までの、明るくさわやかで、時には辛辣な生の声が、第一線の新聞記者たちによって選ばれ、毎日掲載されています。

今年度は5人の作品が採用され、県内高校でも屈指の掲載率となっています。垂高生はつねに、かがやく「若い目」で、自分を見つめ、社会を見つめています。厳しいプロ記者にも認められた珠玉のエッセイ5篇をじっくりご堪能ください。

川畑 麻菜 生活デザイン科3年（垂水中央中出身）

被服・調理の「三冠」めざしたい

私は垂水高校の生活デザイン科に入学し、資格への挑戦を目標の一つにしてきました。二年生までにビジネス文書実務検定の「文書部門」一級、秘書検定三級、家庭科技術検定「食物調理」一級などに合格しています。三年生では取得にいつそう力を入れようと考え、家庭科技術検定「被服製作」一級を受ける予定です。実技試験があり、「和服」は浴衣、「洋服」はジャケット作りです。食物調理に続いて被服製作も一級を取り、「三冠王」をめざします。もう一つは面接の練習を重ねます。私は人前に立つのが苦手ですが、少しでも克服しようと二年生から生徒会に入りました。多くの生徒の前に出る経験を何度もしておかげで、少し落ち着いて話せるようになりました。その経験をこの先の面接試験に生かしたいです。普段から、相手の目を見て、自分の考えを大きな声で伝えられるよう、心掛けるのも大切だと思います。将来に向けてできることを精いっぱいして、進路実現につながられるよう頑張ります。

（二〇二三年五月二日付掲載）

新村優里奈 普通科2年（花岡中出身）

選挙演説中の矛盾

あと一年したら、私は十八歳になり投票権を得る。そう考えた時、昨年全国二ユースで見た選挙演説を思い出した。その候補者は、「身体的に障がいのある方が、暮らしやすい社会にしていこう」という内容を訴えていた。ここまでではよくある演説だと思う。私はここで矛盾している所に気づいたので。それは、その候補者が演説している場所にあった。障がいのある人が生きやすい世の中にしよと言っているのに、点字ブロックの上に台を置き演説をしていたのだ。矛盾している行動だと思う。この人は本当に行動に移せるのか、私は不信感を抱いた。こういったふとした行動が人間性を表すと思う。来年、投票権を得る。自分や周囲の人々が楽しく過ごせるように、人の上に立つリーダーをしっかりと見て決めていきたいと思う。

（二〇二三年六月五日付掲載）

川崎 優斗 普通科2年(大始良中出身)

映画大好きな私

私は映画が大好きです。アニメを中心に邦画をよく見ます。鑑賞していると、いろいろな感情が湧き出てきます。泣いたり、笑ったり、怒ったり。ハラハラドキドキします。

映画館の雰囲気が好きで、テレビ放送では満足できません。多いときは、月に五回見に行きます。一人だったり、友人とだったり、家族で行ったりします。

映画館はドリンクやフードがとても充実していて、私の胃袋をいつも満たしてくれています。プレミアムキャラメルポップコーンとメロン味ジュースのLサイズを毎回一人で食べて飲んでます。それとショップで買うパンフレットも欠かせません。

胃袋も笑顔も満たしてくれている映画と映画館をこれからも愛していきます。

(二〇二三年八月二十九日付掲載)

梶丸 七海 生活デザイン科3年(鹿屋東中出身)

一汁一菜の考え 忘れずにいたい

七月八日付の本紙くらし面で「食文化は一汁一菜から」という記事を読みました。その中でピンときたコメントがありました。

料理研究家の土井善晴さんが「料理なんて難しいことはない。ご飯が炊けて、みそ汁を作ったらそれでOKなんや」と語っている部分です。

私は高校に入って、祖父母の家で暮らすようになりました。そして、祖母が作るみそ汁に疑問を抱くようになりました。たくさん野菜だけでなく、なぜかソーセージやそうめん、ベーコンなども入れるからです。

不思議に思い尋ねると、祖母は「みそ汁に入れたらいけない物はないと思うよ」と言うのです。それを聞いて、確かにその通りだよなあと、納得してしまつた経験があります。

食生活を送る上で一汁一菜の日もあるでしょう。ですが、みそ汁が具たくさんであれば、栄養バランスは十分に取れます。記事にも、日本の食文化は一汁一菜からできていると書いてありました。

私は将来、自炊をしていく中で、祖母に教わつたことや土井さんの言葉を大切にしたいと思っています。

(二〇二三年十一月二十一日付掲載)

春本 葵 普通科1年(東桜島中出身)

将来のため資格を

私は将来、イラスト関係の仕事に就きたいと思っています。イラストを描くのは私の人生、と言ってもいいほど大切なことです。ですが、イラストだけで生活していくのはとても大変です。何も資格も持たず、ただの趣味のままでは、社会で生き残れないでしょう。

自分の好きな事で生きていくためには、才能が必要ですが、それと同じくらい資格や検定が必要だと思います。

二年生からコースが二つに分かれます。その一つ、ビジネスコースに入るともりです。そこではたくさんさんの資格試験や検定が受けられます。パソコンを使いこなせるようになるようです。

そこで私はいろいろ挑戦するつもりです。大変で苦しい時もあるかもしれないけれど、将来の武器にしていきたいと思っています。

少しずつ、一歩ずつ、今のうちから頑張っていきたいと思っています。

(二〇二三年十二月二十一日付掲載)

文芸2

垂水市 第15回
ふるさと俳句コンクール

入選作品

入選

一列に
どこまで飛ぶか
渡り鳥
(一年肥後勇翔)

特選

バイトの手
休めて聞こゆ
花火かな
(三年坂之口璃乃)

教育長特選

宿題が
残っているが
梨をむく
(一年宮迫佐弥)

入選

秋色に
錦江湾が
染め上がり
(三年吉崎梨菜)

入選

友達と
喧嘩したあと
空に虹
(三年林萌々花)

入選

ひらひらと
イチヨウの羽が
舞い落ちる
(二年茨木咲々音)

入選

薔薇の花
オーラのごとく
広がりぬ
(一年永瀬拓海)

文芸3

ポエム

国語科職員 山之内 勉

さしだされたかなしみは
握手をしよう
さしだされたかなしみは
強く握れ

握手をしよう
さしだされた花びらは
たおやかに包め

握手をしよう
さしだされたナイフは
甘美に砥げ

握手をしよう
さしだされた独楽は
高貴に廻せ

握手をしよう
さしだされた闇は
底まで覗れ

握手をしよう
さしだされた明日は
群青色に塗れ

握手をしよう
さしだされた蝶は
そっと
放て



桜の質感にご注目！
外で見ると意外と
小さかったです。

次の依頼もお待ち
しています！



波には自信が
あります！
構図に悩みました…



協和地区の魅力は「自然・人の温かさ・温泉」です。地区に温泉が三か所あり、入り比べるのも楽しいですよ。

この企画は「協和づくり」という事業の中で何かシンボルになるものはないかと考え、「協和地区らしい壁画を」と垂水高校へお願いしました。沖合の江ノ島やカンパチなどを盛り込み、大漁旗風という注文もすべて叶えてくれました。時間の制約があったり、資材の変更があったりと大変なこともありましたが、ステキな壁画を作ってくれた生徒さんたちに感謝です。

Writer

井之上 秋秀

垂水市海潟
協和地区公民館主事

【趣味】孫たちと遊ぶこと

【モットー】

自然体で生きること

【垂水高校生へメッセージ】

高校で何を学ぶかは自分次第です。地域に目を向けながら、いろいろな経験を積んでほしいです。



海潟さくら公園



池田 徐凜
東桜島中出身

池崎 巴瑠菜
鹿屋中出身

中村 莉々
南中出身

吉村 香美
鴨池中出身

堀之口 璃乃
南中出身

平良 彩春
垂水中央中出身

林 萌々花
鹿屋東中出身

◎地域のためにできること

垂水キャンパス

～思いをカタチに～



母からは「すごい！」と言われました。自分たちが描いた絵がある！と嬉しかったです。

びわのリアル感がこだわりです。
達成感しかありません。

とにかくグラデーションにこだわりました！
すべてがお気に入りです。

びわの影を黒ではなく、茶色にする
工夫をしました。赤桜島に苦戦…

垂水の特産をたくさん描きました。こだわりは、赤桜島。垂水から見える夕方の桜島と、それが海に映る様子を工夫して表現しました。このサイズに、始めは不安しかありませんでしたが、製作計画を立てたり、休日も製作に取り組んだりして、最後は大きな充実感がありました。

辺田自治公民館
(垂水市牛根麓)

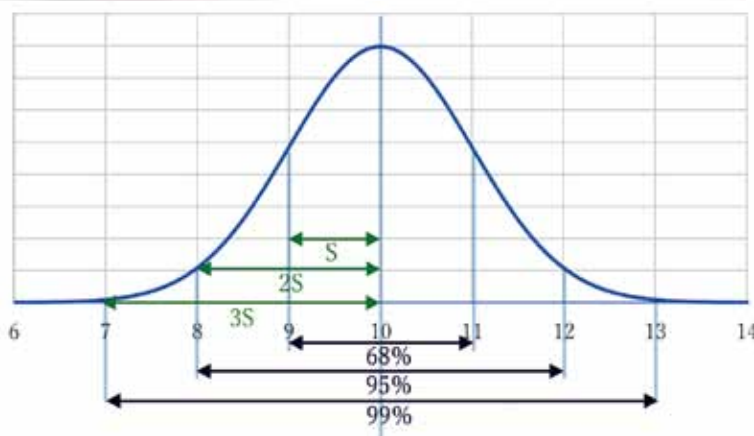


Science 科学
Technology 技術
Engineering 工学
Arts 芸術
Mathematics 数学



STEAM 教育 × 課題解決 見方・考え方

正規分布



◇ STEAM教育とは

科学技術が急速に発展する現在やこれからの世の中で、課題解決しながら生きていくための教科を横断した教育です。STEAMはそれぞれ次のようなことが得られます。

S科学…様々な物事に好奇心もてる

T技術…効率重視の道筋を立てることができる力(プログラミング的思考力)

E工学…ものづくり力、空間を把握する力

A芸術…自由な発想力、想像力、作品を生み出す創造力

M数学…物事を整理して、道筋立てることができる (論理的思考力)

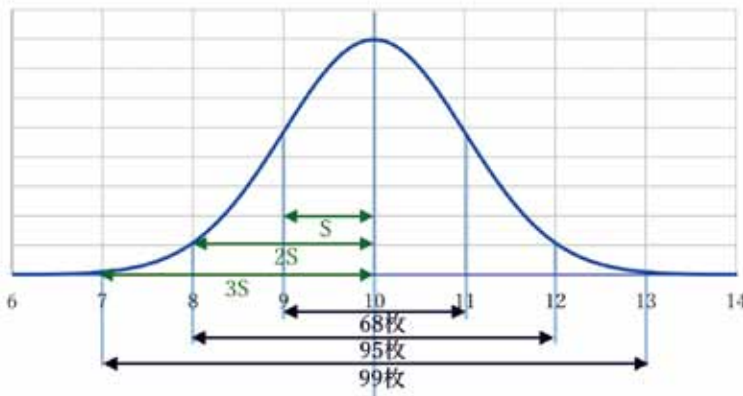
今回の課題は、「お菓子屋さんの経営者として、クッキーを販売する戦略を立てる」。この課題を上図のロイロノートのように分析して、数学的な見方・考え方について深く考えていきました。パソコンでデータを分析したり、実際に10gのクッキー作りをしたりして、この課題を考察しました。

◇ 正規分布について

正規分布とは、平均値から離れるほど、個数が少なくなる分布。自然現象や社会現象の中で、よくあるデータのグラフです。



- ・ 標準偏差 S とは平均からどれくらい差があるか分かる値。
- ・ 標準偏差 S が分かれば、その範囲にどれくらいのクッキーの個数があるか分かる。
- ・ 10g クッキーを 100 枚作って、 $S = 1g$ のとき。横軸 g、縦軸枚



◇ 生徒の感想とまとめ

- ・ 課題をみんなで共有することで多くの解決方法が見つかった。
- ・ データの求め方さえ覚えていれば、式を PC に入力するだけで簡単に計算ができます。PC は仕事にも使えるし、学んでいて得しかないです。
- ・ 標準偏差は平均からのばらつきなので、経営者として作る技術を高め、標準偏差を小さくすればばらつきが小さくなり、不公平感なく販売することができる。
- ・ 私が経営者だったら、作ったクッキーの 99% を販売して、あとの 1% は試供品などにしたい。
- ・ 家でクッキーの試作品を作りました。焼くときに生地からどのくらい水分が飛ぶか試したけど、家と学校のオーブンの性能が違ったので狙った重さにするのは難しかった。

Writer

右：平原 麗依

左：平良 彩春

生活デザイン科 3 年



◇ 数学的な見方・考え方

手作りクッキー 1 枚を販売するとき、クッキーの重さにどうしてもばらつきが出てしまう。1 枚のクッキーの重さに不公平感をなくすために、クッキーの重さをばらつきなく販売したい。経営者として作ったクッキーはできるだけ残さず販売したい。



購入する側の気持ちに立つと、どれくらいのばらつきだったら許容できるか考える。例えば、約 10 g のクッキーを販売するとき、9.8 g でも許容できるか、9.0 g でも許容できるかは個人の感覚によって違う。



重さに誤差があったとき、どのくらいの誤差以上は販売しないのかを計算して求める。



実際に自分たちがクッキーを作ったらどのくらいのばらつきがあるか調理実習をして計測。



計測したデータを用いてまとめ。

2022 垂水高校文化祭

クラスや授業での制作物の展示

フォトスポットで、みんなの思い出となるような写真が撮れるブースや総合的な探究の時間の取り組みをポスターに仕上げたもの、書道の



作品、華道の作品、絵画の作品など授業や実習で制作された作品などの展示があり、観客を楽しませてくれました。



生活デザイン科の製作作品発表

実習で製作したドレスや洋服などを着用して文化祭のステージでファッションショーを開催しました。間近で多くの観客に歩く姿を見ていただき、参加した生徒は少し緊張した面持ちはありましたが、とても楽しそうでした。



文化祭を支えるサポーター

音響・道具・照明・スポット・投影・アナウンスなど、多くの裏方が舞台を支えています。みんなに楽しんでもらえるように、音楽の再生や音量調整をしたり、道具を運んだり縁の下での力持的な役割を果たしています。また、要



望に合わせて演出にあった色とりどりの光で、ステージの照明や背景を調整していました。多くの担当者が文化祭実行委員とともに、準備から当日の運営まで盛り上げてくれました。

10月22日 垂水市文化会館

舞台発表



舞台では、3年生が様々な楽器を先生と一緒に演奏（『美女と野獣』）したり、生徒と先生が楽しくダンスを発表したりしました。



クラスの日常の1コマをアレンジした舞台発表もあり、趣向を凝らした舞台で一生懸命頑張ってくれました。



音楽選択者の発表



授業で学習したトーンチャイムやギターなどで演奏を行い、日頃の授業の成果を多くの人前で披露することができました。（「ホール・ニュー・ワールド」など）それぞれこれまでの学習と、積み重ねた練習の成果を発揮し、聴衆と共に音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えてくれました。



有志による発表



舞台上では、クラスや授業での成果発表だけではなく、学校のオーディションを勝ち抜いた有志による歌唱や演奏そしてキレイなダンスなども行われ、普段の学校での様子と異なる一面を見せてもらい、観客も盛り上がりを見せていました。



今 年度でお弁当 week がスタートして10周年！これまでさまざまなお弁当を紹介してきたこの企画。そこで、今回のお弁当 week は今年度取り組んだお弁当を一挙ご紹介！前期は『お誕生日祝いの弁当』。後期は『心も体も暖まるホカホカお弁当』をテーマに募集。いつもお弁当を作ってくれる保護者への感謝の気持ちを知り、生徒自身の自立を促すことを目的に取り組まれています。

今回も生徒たちの想いや気持ちのこもったお弁当が大集合。テーマに合わせて、工夫をこらしたお弁当や気持ちを込めて試行錯誤したお弁当をどうぞご覧ください。

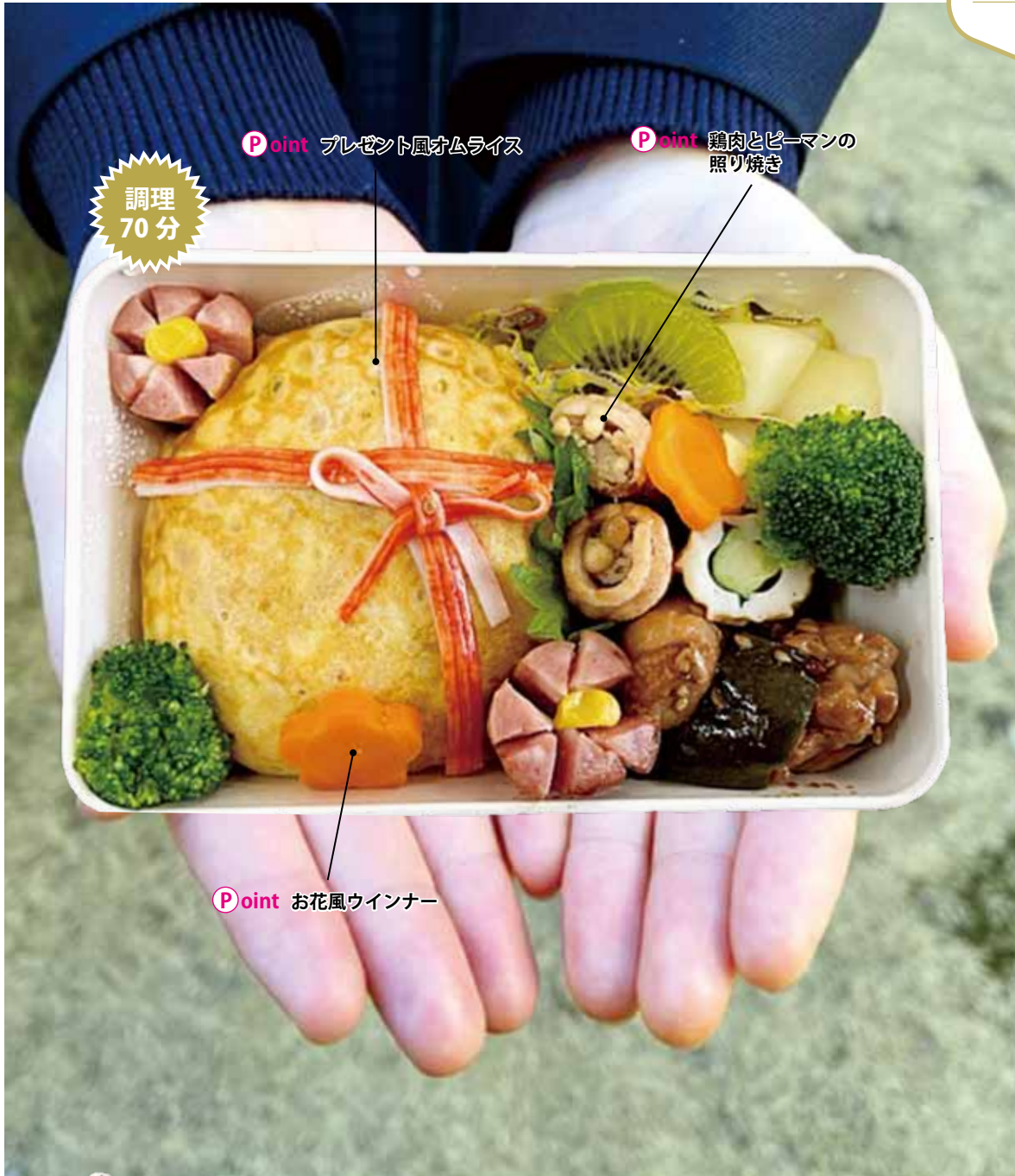
★★★★★
lunch
Tarumizu High School

**突撃！
隣の
垂高飯！！**

あの人のお昼はどんなお弁当？

学校取組

お弁当 Week



作った人

林 萌々花

生活デザイン科3年
鹿屋東中出身

オムライスに、かにかまをさいたり、結んだりしてプレゼントに見立ててみました。リボンにするのが一番大変でした。かわいく仕上げる事ができて良かったと思います。

お祝い弁当

自己評価



満点 (星5つ)



調理
100分

作った人

川畑 麻菜

生活デザイン科3年
垂水中央出身

こだわり POINT

- 1位：いなり
- 2位：ポテト
- 3位：卵焼き

自己評価 ★★★★★ 4.0

七夕弁当

いなりの中に織姫と彦星を作り、右上のいなりにはかにかまとハムで流れ星、きゅうりで天の川を作りました。ご飯を入れる時にいなりの皮が破れてしまって大変でしたが、かわいい弁当を作ることができたので良かったと思います。



調理
20分

作った人

梶丸 七海

生活デザイン科3年
鹿屋東出身

こだわり POINT

- 1位：オムライスの卵を丸く切ったこと
- 2位：アンパンマンのほほと鼻を細かく切ったこと
- 3位：見て可愛いと思えるアンパンマンの顔

自己評価 ★★★★★ 5.0

アンパンマン弁当

オムライスの卵の部分丸く切るのが難しかった。すまに何を詰めようか迷いに迷った。久しぶりにお弁当を作ったので形が少し悪かった。お弁当のふたを開いたときにアンパンマンがでてくるのでかわいく仕上げる事ができたと思います。



調理
60分

作った人

堀之口 璃乃

生活デザイン科3年
南中出身

こだわり POINT

- 1位：チーズのセオムライス
- 2位：キムチ入りスープ
- 3位：ハム きゅうり トマト

自己評価 ★★★★★ 5.0

ホカホカちゃん弁当

温かいお弁当が作れた。
美味しかった。

次は友達にもお弁当を作ってあげたいです。



調理
60分

作った人

中馬 優衣奈

生活デザイン科2年
垂水中央出身

こだわり POINT

- 1位：サンタさん
- 2位：トナカイ
- 3位：ゆきだるま

自己評価 ★★★★★ 4.0

クリスマスお弁当

久しぶりに作ると難しく苦戦する部分が多かったけど、自分なりに上手につくれたので良かった。また、次も挑戦したいと思います。



調理
90分

作った人

亀田 誠

校長先生

こだわり POINT

- 1位：旬の野菜を使用
- 2位：香味食材
- 3位：ぶりのネギ塩焼き

自己評価 ★★★★★ 4.0

旬の食材“満彩”弁当

体を暖めてくれると考えたネギ、しょうがやんにんにく、心を暖めてくれると考えた好きな食材や旬の野菜を使って作ってみました。色どりを工夫したつもりでしたが、やはり難しかったです。しかし、味は満足でした。



調理
60分

作った人

小田 百香

生活デザイン科2年
花岡中出身

こだわり POINT

- 1位：色あい
- 2位：栄養バランス
- 3位：味つけ

自己評価 ★★★★★ 3.0

にこにこ暖まる弁当

色あいや栄養バランスを考えながら作りました。自分が思っていたよりも、上手く作ることができていたので、良かったです。今後、朝早く起きて母の手伝いをしようと思います。

垂高には
今、これも
あります

supported by tarumizu city

Six Support

【 シ ッ ク ス サ ポ ー ト 】

垂水高校では、垂水市の支援を受け、垂水高校に在学する生徒に対し6つのサポートを行っています！

◎垂水市における垂水高校振興支援

垂水市では、「魅力ある垂水高校づくり」支援策として、平成23年度に「垂水高等学校振興支援計画書」を策定し、基本方針として5つの柱（学校のイメージアップ、進学・就職の充実、未来を担う人材づくり、垂水市の地域振興、学校と関連団体の連携）のもと、垂水高校を支援しており、このシックスサポートもその取組の一つです。（本誌発行も支援事業として行われています。）

東 進衛星予備校の
講座を受講する
生徒の受講料を補助
します。**通** 学定期実額の
3分の2の額
を補助します。（8
月1日～31日の
通学定期実額は、
補助対象外となり
ます。）**市** 内に一人で賃
貸住宅等に居
住する生徒に対し、
家賃相当分を補助
します。（上限額
は月2万円です。）通学費
補助家賃
補助金東進通信
講座受講
料補助

Six Support

検定試験
等補助部活動
等活性化
補助広報支援
補助**部** 活動の活性
化と学校の
イメージアップを
図る部活動等に対
し、指導者謝金や
活動費等を補助し
ます。**学** 校のイメー
ジアップや
地域振興を図る広
報活動に対し、フ
リマガ発行等の作成
費等を補助します。**検** 定試験等を受験する生徒の検定費
用実額の全額を補助します。（同
一検定同一級につき1回限り）

鹿児島県立垂水高等学校

〒891-2106 鹿児島県垂水市中央町14 ☎0994-32-0062
<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tarumizu/top.html/>中学生の皆さんの
御入学を
お待ちしております。